



2020年(令和2年)
3月10日
第8号
発行所
〒632-0018
奈良県天理市別所町80-1
天理医療大学内
天理医学技術学校同窓会事務局



天理医学技術学校同窓会
Tel 0743-63-7811
www.teniko-dousoukai.jp

「一手一つ」最終号並びに臨時総会のお知らせ



天理医学技術学校同窓会
会長 木寺英明

の締めくくりとするのが最適ではないか、ということになりました。

御年93歳となられた高橋先生に原稿をお願いしたところ、最初は離職してあまりにも時間が経過している

ので遠慮しておくのご返事でしたが、近くにお住まいの同窓会員5期

生の増田美也子さんのご協力を得てなんとかか了解して頂くことができました。

高橋先生にとって最も印象に残っておられるのは、天理に赴任されて病院の検査部を立ち上げるだけ

でも大変な時に、検査技師を養成する学校もほぼ同時にスタートさせる

ことは、色々なお話を聞くうちに我々の想像をはるかに超える大変さ

であったと理解できました。そのおかげで、今の自分があることを思う

と感謝の気持ちでいっぱいです。私自身も教員として臨床検査技師の教

育に携わってまいりましたが、10

見据えて1人でも多くの会

00文字程の文章にまとめるとなると、大変なことをお願いしてしまつたと反省しております。この最終号は同窓会員にとりましては、貴重な思い出となり永久保存版として後世に残るのではないかと自負しております。大変無理なお願いを快くお引き受け頂き、原稿を提出して頂いた先生方には、心より御礼申し上げます。

次いで、今までの天理医学技術学校同窓会の役員の任期は5年間ですので、次の同窓会総会は令和4年3月の予定でしたが、3校の同窓会が統合することが今後運営していくためにどうしても必要との認識が広がり、**令和2年10月24日(土)**に臨時総会を開催しなければならなくなりました。この臨時総会で、今後の同窓会運営を新たな体制でスタートさせることを、会員の皆様から承認を得なければならぬのです。天理医療大学の今後の動向を

員に承認して頂きたいと思っておりますので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

決して型苦しい議論の場ではありません。同じ日に誕生した看護と検査の同窓会が一つとなり、そこに若い同士が加わる集団に生まれ変わるのです。同じ使命を果たす者同士が力を合わせて、母校の発展に寄与することは幸せなことです。

垣根を越えて、協力して物事を成し遂げていくことが今後の同窓会に求められています。絆と親睦を深めるために、総会後に親睦会を予定しており、皆様が楽しめるお楽しみ行事を用意しております。その1例を挙げますと、はずれなし大抽選会では、1等旅行券

(JTB) 20万円、その他案内書に示します豪華景品も多数あります。今までの同窓会総会とは規模も企画も異なり、何より仲間が増える喜びを是非体験して頂きたいと切に願っております。

天理医学技術学校同窓会会報「一手一つ」は今回の第8号で最終号となります。次年度からは3校統合同窓会(名称候補はありますが総会で承認後使用)から新たな会報(名称は未定)が発行される予定です。そこで、最終号をどのような記事で編集するのがふさわしいかを同窓会役員で検討した結果、最後は検査学科1288名、臨床工学専攻科95名を世に送り出して頂いたベテラン教員の先生方(高橋先生、市村先生、上田先生、喜寿村先生、杉邑先生)に、同窓会会員へ向けてのお言葉を最後

元天理医学技術学校教員による同窓会への思い出

天理衛生検査技師学校(衛検)及び天理医学技術学校同窓会の皆様へ



元天理医学技術学校
学校長 高橋 浩

先程木寺同窓会長より、最後の同窓会誌を出すことになったので寄稿してくれないかとの依頼があった。私とも思い出は澤山あるが、齢既に九十を越えた老骨がという遠慮があり、すこしだけ書く。これは衛検初期の話である。その頃夏休みはごく短かったが、(実は病院実習という名の実際の臨床検査従事のため)毎年野外キャンプをしていた。当時は少年会から借りたテントなどの道具でかなり本式だった。そのキャンプの終り頃、学年対抗のラリー競走をしていた。勝つのは体力のまさる1年生だが、日頃寮の1号館で上級生に酷使されているので、このときとばかりは非常に嬉しそうだった。学年の上下関係が厳しいのは、先一寸触れた病院実習に由るものである。そこで実際の臨床検査の厳しさを実践によって学ぶのである。これはどの他の職種でも経験しない。私見ではあるが、臨床検査の基本は科学技術で、診療・医療の中の他の医療職種とは違う。科学の「サイエンス」でありながら技術の「アート」の面を持つ。だから科学の進歩と共に臨床検査は進歩するのであるが、医療に使うには術がある。いわゆる実地修練である。ひどく偉そうな話になったが、年寄だなど許されたい。

天理の場合検査技師教育の形は、指導者や先生が僅かでありながら、澤山の病める患者さんのために力の限り働いたのがいつか型になり、先輩が後輩を育てる徒弟制度ができあがっていったと思う。日本では検査技師教育が全体に遅れていた。特に医師の指導者が不足していた。その昔衛生検査技師制度が出来た頃、山口県立医大柴田教授の下に人位の医師が集まって技師教育の議論があったが、すぐに実行に移せる中味はなかった。私はその数年前、アメリカの大学病院に1年間おり、臨床検査教育の実態を見たが未熟な段階だったと思う。米国では医師の臨床病理協会 (American Society of Clinical Pathology) があり、臨床検査法を集めた教本はあったが、専門の教育機関や学校はなかった。

私が天理に在職している間は学校の卒業年次によって何期生と呼び、私に対しても自分の名前前の前に何期の誰それといつていた。特に1期生、2期生の呼称は敬意を持ってそのまま続いていた。こうすることでお互い話を通じやすかった。良い意味で徒弟制度ができてくるように見えた。

校舎の老朽化による雨漏りがひどくなり、修理不能と言われて、創立から30年たった頃、看護学院と共に新築が決まった。その落成式にやってきた昔の卒業生が、旧校舎が消え失せたことをひどく悲しんでいるのを見て、あれだけポロ校舎の悪口を言っていたのにと、人の心を思った。その時、「みんなにとつてあれが母校なのだ」と思わずにはいらなかった。このあたりで私の駄文も終りにしたい。なお本文の校正には愚息のサポートがあったことを付け加えておく。

私の天職は「臨床検査技師教育」であったのか？



元天理医学技術学校
副学校長 市村 輝哉

私が臨床検査技師教育に携わり始めたのが昭和49年(1974年)4月からで、天理よろづ相談所病院に入所してから4年目の27歳の時が、臨床検査技師教育のスタートであった。

教育が何かを分らないままでの学生との接触であった。また、臨床検査の経験を十分にしていた教育で無かったため、理想論を振りかざしての講義・実習であったことと思う。その頃、一番不安であったのは、何を根拠に講義・実習をしているのか、また、学生にとつて、将来、何が役に立つのかということであった。そのためには、この学問の体系化が必要と感じ、「臨床検査学」は「何か」を自分への課題とした。全国臨床検査技師教育施設協議会(現日本臨床検査学教育協議会)の役員等の立場から、何回かのカリキュラム改正の原案・素案作りに参加させて頂いた。多少時間がかかったが、今では、「臨床検査学」が普通に使われるようになってきている。

また、「臨床検査は臨床検査技師の手で！」というスローガンも当初から掲げていたことであった。臨床検査現場を十分に経験した検査技師が、臨床検査技師を教育しなければ、本当の実力を身に付けた卒業生を送り出すことは不可能と思っただけである。幸い、天理よろづ相

談所病院の付属の学校で、しかも、ほとんどの検査現場を教育をしてくれる検査技師が本校の卒業生であったため、このスローガンは容易に実現化した。「先輩が後輩を指導し、立派な検査技師を世に送り出す！」という使命感が綿々と現在に至るまで続いている。この教育態勢が「天理出身の検査技師は一味違う」との高い評価を維持され続けられている源(みなもと)であろう。今後とも、プライドを持って世に出れるような卒業生を出し続けて欲しいものである。

臨床検査技師を教育(学校教育と現場教育)するの一番大切なことは、これから先の臨床検査技師にとつて必要なことは何かを常に問うことである。現状を見てみると、大学や専門学校教員よりも、臨床検査の現場の技師(臨床検査技師会)の方が、積極的に向かっていように見える。新しいカリキュラム検討の中で、臨床(臨地)実習の履修単位を大幅に増やそうとしていることからでも伺い知ることが出来る。何時(いつ)の時代になつても、臨床検査の現場と乖離した「臨床検査学」はあり得ない。

「天理医学技術学校」を定年退職後「関西医療大学保健医療学部臨床検査学科」の立ち上げ、その後、大学の数年の教育と合わせて40年余の「臨床検査技師教育」を終えた現在私の天職は、やはり、「臨床検査技師教育」であったと思ふ? 今日この頃である。

思い出

元天理医学技術学校 副学校長 上田慶子



天理医学技術学校が閉校となりほぼ6年となり、私の記憶からも少しずつ消えていきます。今でも鮮明に覚えている化学の講義、実習中の出来事をいくつか書きます。

メスシリンダーで溶液を作る時、メスシリンダーの目的の目盛りに眼の位置を合わせ、蒸留水を入れメニスカスを合わせてください。学生「眼に透かすから、メニスカスですね」と言い心を込めて眼に透かしていました。説明が不適切で申し訳ありませんでした。

分子量を求める授業で構成している原子の原子量を足してください。NaClの場合Naの原子量が23で・・・学生「Naの原子量が23とは最近決まったのですか、何にも教えてもらってないのですが。」「かなり昔に決まっております。」と答えたもののどうしたものか途方に暮れました。しかし学生はよく頑張り試験は見事合格しました。

酸・塩基の講義の時分子中にHを持つものが酸、OHを持つものが塩基です。学生「酢酸 CH_3COOH はHもOHも持つと思うのです。どうなるんですか。」「とてもよい質問です。詳しくは共有結合の極性の所で説明します。今は名前が酸ですので酸と覚えてください。」後ほどの授業でわかりましたか。

化学ではよく使う官能基を略号で表します。たとえばメチル基は CH_3 、エチル基は C_2H_5 です。ヘモグロビンの構造式を問う化学の試験問題の時です。問い「ポルフィリン環に結合している Mg は何を表していますか？」学生の答え「最優秀選手賞です。」一瞬正解にしなければならぬと思いましたが、これは化学の試験であり、一般教養の試験ではないので心を鬼にして不正解にしました。

以上です。今でも思い出しては思わず笑ってしまう楽しい思い出です。しかし当校の学生はともかくよく頑張りました。学校の良し悪しは設備が良いとか立派な先生がいるとかではなく卒業生で決まると思います。卒業生の皆さん、今皆さんがいる社会でますます頑張り天理医学技術学校の名前を不滅のものとしてください。皆様の今後の発展と健康を祈っております。

今も印象に残る光景

元天理医学技術学校 教務主任 喜多村昭子



天理医学技術学校同窓会、天理看護学院同窓会、そして天理医療大学同窓会が今年統合される。これに伴い同窓会会報「一手一つ」の発行も今回が最後とのこと。どう変わっていくのか注目したい。

この度、忘れ得ない思い出等を文章にとのことですが、開校から50年の時を経て、なお印象に残る思い出は多くあります。その一つ、高い天井の木造旧校舎第一実習室第二実習室でのピンと張りつめたあの光景です。入学してきた学生が最初に受ける授業、オリエンテーション実習の場面です。卒業生の皆さん全てに覚えのある「中和滴定」実習です。この実習で種々のガラス器具、天秤、比色計等の正しい使い方、そしてこの学校で求める正確さや再現性等についての実習でした。当時の検査現場はアナログ全盛期、測定する技師の技術がデータの信頼性に直結していました。学生たちはそれまでに味わったことのない厳しい基準に驚き泣きべそをかきながら天秤やビュレットに向かっていました。真剣な眼差し、

震える手、緊張の連続でした。「次へ進んでよし」のサインが出ず深夜近くになりやつと「よし」のサインを貰って帰宅、帰宅後レポートを作成翌朝提出といった日が続ききました。学生の表情が日増しに変わっていくのが分かりました。

この超ハードスケジュールを乗り越えて物を測定（検査）することの厳しさ、中途半端では出来ない、本気で取り組まねば技師にはなれないことを体感し、学生の心の中に「覚悟」が出来ていったと感じました。この重い「覚悟」は全ての卒業生の心の中で今も息づいているに違いありません。

患者さんや同僚から信頼を得る優秀な技師は技術技量のみならず豊かな人間力を具備している人間技師のこと。学校では専門教育に偏りがちの中、人間力向上も目標に努力もしてきました。技術の向上、人間力の充実と共に生涯研鑽を通して成就されるもの、このことも全ての卒業生の心の中で今も脈打っているものと確信します。

近年天理の卒業生は優秀だという声をしばしば耳にする機会があります。私はその度に顔を綻ばせています。また、多くの優秀な技師が活躍中は周知の通りです。「よかった」の一語に尽きます。

寺子屋風の衛検（天理衛生検査技師学校）から始まり天理臨床検査技師学校、天理医学技術学校、天理医療大学へと発展的解消してきた本校、今後の更なる発展を大いに期待しています。

臨床工学専攻科と同窓会に寄せて



元 天理医学技術学校
臨床工学専攻科
教務主任 杉邑 芳樹

私は臨床工学専攻科の立ち上げから13期生を輩出し閉校になるまで専任教員として修士教育に携わった事を幸せに思っております。専攻科は定員10名で各期とも、とてもアットホームなクラスとなりました。小人数で1年の修業年限ではあります。本校以外の検査学や看護学科の卒業生も受け入れられる事ができ、貴重な経験が出来ました。特に専攻科の場合、検査学科とは異なり入学資格が細かく定められていないため、入学希望者からの受験資格の有無に関する問い合わせが多く寄せられ、その判断に迷う事もありました。

講義、実習に関しては、憩の家の臨床工学技士と関係の深い多くの診療科の医師に臨床医学に関する講義をして頂き、学生にとって貴重な知識を得る事ができました。また、臨床実習におきましては憩の家の臨床工学技士の濃密な指導により、短期間にも関わらず非常に効果的な実習をして頂きました。事に感謝しております。大阪労災病院での高気圧酸素療法体験実習、

そして毎年実施した夏の研修旅行において、テルモの工場見学やメディカルプラネットスでの研修、北里大学病院見学、富士山観光(登山)は楽しい思い出です。

専攻科は1年サイクルの濃密な時間の繰り返しで教員として、とても充実していたように思います。

皆様の多大なご協力により、お陰さまで13年間で1人の不合格者もなく卒業生全員が現役で国家試験に合格することができ、95名の臨床工学技士を世に輩出できました事を幸せに思い、感謝しております。

この度、天理医学技術学校同窓会と天理看護学院同窓会ならびに天理医療大学同窓会が合併し、合同同窓会となる事をお聞きしましたが、私にとって天理医学技術学校同窓会は卒業してから、定期的に卒業生並びに恩師の方々と交流を持つ絶好の機会になっております。

医療従事者を養成する学校である3校でありますから、その同窓会が合併する事でお互いに得る事も多いと思えます。また、3校は共におちばの学校であり、憩の家と密接に関わりのある学校ですから、合同同窓会は今まで以上におちばや憩の家に關する情報も発信していただき情報共有の場を提供していただければ有り難いと思えます。還暦まであと1年となる今秋に天理医学技術学校同窓会で卒業生と会えるのを楽しみにしております！同窓会の更なるご発展を祈念いたします。

同窓会より学校への贈呈品一覽

【創立10周年記念】

- ① 代校旗 2基
- ② 植樹(メタセコイア)

【創立20周年記念】

- ③ 演題クロス
- ④ 植樹(アメリカハナミズキ)

【創立30周年記念(新校舎竣工記念)】

- ⑤ 書 一点 『朝起 正直 働き』(三宅白城書) 2470×3000mm (B棟5階食堂東壁)

- ⑥ 絵画 一点 『抱擁』(友永美紀子画) 80号 (B棟1階会議室)

【創立40周年記念】

- ⑦ 同窓会記念品繰越金



寄贈同窓会 (三宅白城 書)



寄贈同窓会(「抱擁」友永美紀子画)

④

⑤

⑥

天理医学技術学校（同窓会を含む） 沿革

1967年(昭和42年)4月

天理衛生検査技師学校開校（夜間2.5年間コース）

初代学校長 山本俊平 就任



天理衛生検査技師学校舎

1969年(昭和44年)4月

同校昼間2年コースへ変更



高橋学校長と1期生

1971年(昭和46年)1月

二代学校長 高橋 浩 就任

1973年(昭和48年)4月

天理医学技術学校に校名変更（昼間3年間コース）



校名変更後の校門

1974年(昭和49年)3月

天理衛生検査技師学校閉校



創立20周年贈呈品

1977年(昭和52年)10月

創立10周年記念式典

1987年(昭和62年)11月

創立20周年記念式典



新校舎 北東よりの全景

1996年(平成8年)9月

新校舎へ移転

1997年(平成9年)3月

創立30周年記念同窓会総会



創立30周年贈呈品

1997年(平成9年)9月

三代学校長 奥村秀弘 就任

2001年(平成13年)4月

臨床工学専攻科 開設

2007年(平成19年)3月

創立40周年記念同窓会総会



閉校式 奥村学校長挨拶

2014年(平成26年)3月

天理医学技術学校閉校

最終号に向けて現役員挨拶

副会長 北川孝道



検査科21期生
卒業式終了後、教会本部前で撮影
お揃いのネクタイでV5の人文字

き、目的が“一つ”になれば、立場が違っても、みんな協力し何事もできるということも再確認できました。
2020年10月24日、統合同窓会記念パーティーには多数のご参加を頂き、皆さんで同窓会を盛り上げていきましょう。

事務局長 中村彰宏



検査科34期生のおっさん5人

この度、2020年10月に天理医学技術学校同窓会は天理看護学院同窓会および天理医療大学同窓会と統合する運びとなりました。本会報も発行第8号を向かえましたが、3校統合を機に最終号となりました。ホッと安心したとともに少し寂しくも感じています。

私自身、この役を拝命した時は「同窓会って本当に必要なのか?別に無くてもいいんじゃないか?」と正直思っていました。しかし、本活動を通して、また木寺会長をはじめ役員の皆様と懇話を重ねるにつれて、自身が育てられた学校が今後もより発展していくためには同窓会は大変重要な役割を担っていることに気づかれました。また、私自身の現在の

職場が天理医療大学であり、それはとても痛感し、大変勉強させられました。

この1年間は今までの天理医学技術学校同窓会活動に加え、3校統合に向けての活動もこなしていかなければならないとハードな1年間でした。今年10月24日に開催される統合記念パーティーは役員一同全力で盛り上げるため鋭意企画しておりますので、是非多数のご参加をお待ちしております。これからは同窓会活動にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします!

幹事 大林準



検査科15期生 研修旅行にて

同窓会役員をさせていただいております、15期卒業生の大林です。
天理医学技術学校同窓会は、この2020年10月に、天理医療大学同窓会・天理看護学院同窓会とひとつになり、3校統合同窓会(仮称)になります。
3校統合同窓会準備委員会を進めていくうえで、会議を重ねると、各同窓会それぞれにいろいろな特徴が

あるものだなと、楽しく感じておりました。さらに、役員全員が、天理で学んだ誇りと同窓生への想いを強く持っていることに深く感激しました。
そして、3つの同窓会がひとつになっても、この天理魂(スピリッツ)を共有し、皆と一緒に同窓会を盛り上げていけるものと確信いたしました。
10月24日の3校統合同窓会設立総会では、ぜひ、そのスピリッツを感じていただけましたら、と思っております。同窓生のみならず多数のご参加をお待ちしております。

幹事 武田侑子



検査科35期生

同窓会幹事を務めさせて頂いております天理医学技術学校35期生の武田侑子です。
天理医学技術学校は昭和42年、2代目真柱様が「医療ようぼくを育てたい」と創設されました。臨床検査が急成長を遂げマニュアルから機械化が進む中で、天理医学技術学校も、

さまざまな歴史を歩んできました。そして天理医学技術学校同窓会も、天理看護学院同窓会、天理医療大学同窓会と統合し新しいスタートを迎えることになりました。

この同窓会誌「一手一つ」も最終号となりますが、今後も同窓会の発展、また同窓会活動を通して母校のお役に立てたらと思います。

幹事 清水一茂



検査科42期生 国家試験前の一コマ

同窓会幹事を務めさせていただいております。検査科42期生、専攻科11期生清水一茂と申します。主な仕事は会報「一手一つ」の編集です。毎年会報作成に携わることができて、非常にラッキーでした。偉大な教員の方々の言葉、尊敬している卒業生の思いを一字一句味わうことができるのは編集担当者の特権です。年月が経っていつか原稿を依頼された時に、次世代を担う若人の心に響く熱い言葉を伝えられるような人間になっていきたいと強く思います。

今年と同窓会臨時総会です。皆様とお会いできるのを楽しみしております。

会計 川邊晴樹



検査科40期生 卒業を前に 国試3年目のジギス打破を目指して

同窓会役員として会計(代理)を3年間担当させていただきました。役割にあたった当初はそんなに活動はないだろうと簡単に考えていましたが、実際には2、3ヶ月に1度のペースで会議が開かれ、会計としての雑務も多く、また3校合同の総会に向けてやるべきことは山積みでした。

私自身これまで同窓会への思い入れは全くありませんでしたが、会議に参加するうちに木寺会長の同窓会にかけられる思いや役員の方々の意見を聞くことで、天理医学技術学校の40期として卒業できたこと、また現在自分が恵まれた環境で仕事ができていることが本当にありがたいことだと感じるようになりました。同窓会役員のみなさまありがとうございました。今後ともお世話になります。

また、同窓会活動にご賛同いただき寄附金をお寄せいただいた同窓会員のみなさま本当にありがとうございます。この場をお借りし感謝申し上げます。

平成30年度会計報告

収入の部

前年度繰越金	2,125,817
寄付	350,000
利息	12
合計	2,475,829

支出の部

「一手一つ」印刷代	20,672
「一手一つ」封筒代	4,934
「一手一つ」郵送代	125,760
寄付お礼状代	1,240
事務局プリンタ代	30,014
次年度繰越金	2,293,209
合計	2,475,829

監査 倉村あい美



検査科39期生 卒業目前校長先生と一緒に

現在役員という立場ではありませんが、妊娠・出産・育児と重なり主人に役員会への代理出席をお願いしております。主人も都合が合わずなかなか出席できないこともあり、その他の役員の皆様にはご迷惑をおかけしております。そんな状況ではありますが、今まで同窓会は自分にとってどこか遠い存在でありましたが、長年に渡り先輩方が繋いでくださった同窓会の尊さを実感しております。この度、天理医学技術学校同窓会は天理看護学院同窓会、天理医療大学同窓会と統合されることとなり、大きな節目を迎えます。これまでの伝統を活かしつつよりよい同窓会活動へと発展できますよう、今後さらなるご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

平成30年度 寄付金入金者一覧 119名 総計341,000円

多くの同窓生の皆様から寄付を賜り誠にありがとうございました。
寄付金収入の全額は、同窓会運営費の一部に充当させていただきます。

1期 高橋 良子 加藤 廣子	7期 太田 隆 松村 和彦	11期 河野 久/博子 田上 美鈴	福塚 勝弘 佐藤 京子 久保 良子	福田 悦子 岩崎 瑞穂 16期 安藤 薫	菅田 君子 竹岡 加陽 田村 訓子 日置 貴美子 榎本 恵美	22期 大河原 まつよ 田村 訓子 日置 貴美子 榎本 恵美	25期 鈴木 聖子 松本 智子 仙田 ちとせ 26期 下村 大樹 橋本 武昌 植東 ゆみ	31期 諸井 ひろみ 39期 成田 真奈美 44期 真奈美	33期 石谷 彩 45期 岡本 朋子	天野 陽子 今西 達也/礼 馬場 創汰/萌	40期 岡本 朋子	41期 川邊 晴樹/美智子	42期 辻 未和 匿名希望3名
2期 小野 喜雄/理喜代 中村 逸枝 宮西 節子	8期 北崎 公子 東中 千鶴子 9期 木寺 英明/きみ子 末吉 範行 池上 紀久代	12期 森下 政重 菊田 多恵子 井上 あけみ 豊田 充宏/茂美 藤本 一満/宣子 13期 森田 真美	14期 岸森 千幸 高田 章美 土屋 直道 吉村 さゆり 橋本 儀一/敏枝 畑中 徳子 15期 大林 準 林田 雅彦/明子 三角 由美	17期 松下 陽子 18期 岸原 文江 小林 靖雄 横田 洋 19期 嶋田 昌司 神田 典尚 窪 真理 西村 雅	20期 桑野 和代 坂本 真一/よう子 21期 伊藤 文枝 小川 令子 嶋田 昌司 永谷 道一 前川 ふみよ 北川 孝道/実美	23期 木下 真紀 小松 方 井上 敦美 原田 博子 24期 日裏 淑恵 中川 美穂	27期 橋本 武昌 植東 ゆみ 28期 小林 昌弘 北田 佳代 30期 曾山 奉教/あかね 長岡 俊治/真理子	34期 倉村 英二/あい美 今西 達也/礼 馬場 創汰/萌	36期 小網 麗菜 三島 直子 中村 彰宏 37期 清水 一茂 43期 大門 由輝 小林 彩乃	38期 潮崎 裕也 小林 彩乃	41期 辻 未和 匿名希望3名	42期 辻 未和 匿名希望3名	
3期 奥野 敏子	4期 金城 佐登志 文澤 幸子 山本 慶和/公江	10期 光村 純代 南 義弘/睦											

平成31年度事業報告ならびに同窓会ウェブサイトのお知らせ

平成31年1月1日(令和2年2月29日)までの活動報告をさせていただきます。

次の通り、計4回役員会議を開催した。

○第1回役員会

会期：平成31年3月27日(水) 18時30分

20時00分

場所：天理医療大学 研究棟3階 ミーティングルーム

出席：木寺、北川、大林、倉村英(倉村あ監査代理)、川邊晴(川邊美会計代理)、中村

欠席：武田、清水

会議内容

①平成30年度同窓会活動報告

②平成30年度同窓会寄付金納入状況について

③同窓会会報「一手一つ」第7号発行に関する反省点について

④天理よろづ相談所学園同窓会(仮名称)設立準備委員会に関して

○第2回役員会

会期：令和元年5月14日(火) 18時30分

20時00分

場所：天理医療大学 研究棟3階 ミーティングルーム

出席：木寺、北川、倉村英(倉村あ監査代理)、川邊晴(川邊美会計代理)、中村

欠席：武田、大林、清水

会議内容

①同窓会会報「一手一つ」第8号(最終号)企画について

②天理よろづ相談所学園同窓会(仮名称)設立準備委員会への意見集約

○第3回役員会

会期：令和元年8月5日(火) 18時30分

20時00分

場所：天理医療大学 研究棟3階 ミーティングルーム

出席：木寺、北川、大林、清水、中村

欠席：武田、倉村英(倉村あ監査代理)、川邊晴(川邊美会計代理)

会議内容

①天理医学技術学校同窓会臨時総会および3校統合同窓会総会の日程変更通知について

②同窓会会報「一手一つ」第8号(最終号)企画について

③天理よろづ相談所学園同窓会(仮名称)設立準備委員会への意見集約

○第4回役員会

会期：令和元年9月18日(月) 18時30分

20時00分

場所：天理医療大学 研究棟3階 ミーティングルーム

出席：木寺、北川、大林、中村

欠席：武田、清水、倉村英(倉村あ監査代理)、川邊晴(川邊美会計代理)

会議内容

①天理医学技術学校同窓会臨時総会および3校統合同窓会総会の日程変更通知について

②3校統合同窓会記念総会および記念パーティーの概要案について

○第5回役員会

会期：令和2年1月15日(月) 18時30分

20時00分

場所：天理医療大学 研究棟3階 ミーティングルーム

出席：木寺、北川、大林、清水、川邊晴(川邊美会計代理)、中村

欠席：武田、倉村英(倉村あ監査代理)

会議内容

①同窓会会報「一手一つ」最終号発刊およびスケジュールについて

②3校統合同窓会記念総会および記念パーティーの来賓候補者の決定

③ホームページについて

④同窓会統合後の問題点について

同窓会ウェブサイトでは会報であります「一手一つ」が閲覧可能になっております。またウェブサイトホームページに記載されているメールアドレスへ住所変更等あれば送信していただければ大変助かります。ご協力をよろしくお願い致します。

同窓会ウェブサイトQRコード



*アプリの種類によっては読み込めない場合がございますので、御了承下さい